

題材名・単元名	学部	授業名(主たる教科領域)	授業者
<p style="text-align: center;">劇あそび ～3びきのこぶた～</p>	小	グループ学習 低学年あじさい・ ひまわりグループ (国語)	堀川 馬着
<p>&lt;ねらい&gt;            ☆教師とのやりとりを楽しみながらパネルシアターや絵本を見聞きし、話の展開を理解する。            ☆こぶたの役になって家を作ったり、オオカミとやりとりをしたりすることを楽しむ。            ☆友達と一緒に劇あそびをして楽しむ。</p>			
学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物	
<p>1、あいさつ・呼名 「♪なまえがくるくる」</p> <p>2、歌、模倣あそび 「♪しあわせならてをたたこう」</p> <p>3、パネルシアター 『3びきのこぶた』</p> <p>4、劇あそびをしよう 『3びきのこぶた』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌に合わせて動作をする。</li> <li>・指名されたら名前を言い、次の友達を指名する。</li> <li>・歌に合わせてみんなと一緒に動作をする。</li> <li>・指名されたら自分がしたい動作を考えて身振りや言葉で伝える。</li> <li>・パネルシアターを見て話の展開を理解する。</li> <li>・教師とやりとりをしながらせりふや登場人物の動きを知る。</li> <li>・自作のお面と服を身につけてこぶたの役になる。</li> <li>・オオカミ役の教師とやりとりをして劇あそびをする。</li> </ul> <p>○家づくり</p> <p>わらの家：かまでわらを刈るまねをする わらの束を家にかける。</p> <p>木の家：のこぎりやおので木を切る。 板を家に貼る。</p> <p>レンガの家：レンガにこてでセメントをつけるまねをする。 レンガを家の壁に積む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円形に椅子を並べ、お互いの顔が見えるように座る。</li> <li>・友達を意識するような声かけをする。</li> <li>・教師は大きな動作を心がけて楽しい雰囲気をつくる。</li> <li>・2回目以降、ぶたやオオカミの動作も取り入れる。</li> </ul> <p>パネル、絵人形、パネル台</p> <p>〈準備物〉 こぶたのお面、服 オオカミの帽子 わらの家・木の家・レンガの家 わら束・木・板・のこぎり・おの・レンガ・こて</p>	

	<p>○オオカミとのやりとり 家を吹き飛ばされて逃げる。オオカミと 追いかけてこし、次の家に逃げ込む。</p> <p>○レンガの家の中 オオカミの動きに応じてのやりとり。暖 炉に木をくべる。</p>	
--	---	--

内容（工夫点など）＞

- 話を理解するために、絵本とパネルシアターを使用した。
- えがく・つくる活動の時は絵本を使い、話の展開を理解できるようにした。ことば・あそびの活動の時は実際の劇あそびにつなげるために、より動きを表現できるペープサートを使うことにした。
- えがく・つくるで劇に関わるものを作った。（お面、服、木の板、レンガ）
- 劇あそびの導入として、実際に劇をする前にペープサートを使って劇あそびに取り組んだ。（2回）場面1：家を作る（わら、木、レンガ）場面2：オオカミとのやりとり

＜良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）＞

- 話の内容が分かりやすく7人全員が興味をもって取り組むことができた。
- 絵本が好きな児童たちであり、パネルシアターやペープサートを併用したことで一層積極的に取り組む様子が見られた。
- 役になりきり、話に入り込んで演じたり、せりふを言ったりする児童が複数いた。
- こふたのお面や服を自分たちで作ったことで気持ちを高めて取り組むことができた。
- 自発的にせりふとして言葉で表現できない児童には、せりふカードや個々の簡単な台本を工夫して用意できれば良かった。
- 時間数が少なかった。もう少し余裕があれば別の役もして楽しむことができたと思う。